

R5	2024.04.10 公開資料
	卒業時満足度調査（令和5年度） 集計結果と報告（国際教養学部・教育学部）



令和5年度卒業時満足度調査の結果を報告します。卒業生の89%から回答が得られました。

1. アンケートの実施

実施	令和5年2月上旬から3月12日									
対象者	令和5年度卒業生114名【内訳】国際教養学部80名 教育学部34名									
回答者	102名（回答率89%）【内訳】国際教養学部72名（90%）教育学部30名（88%）									
方法と内容	下記の7つの質問項目で、用紙およびインターネットでアンケートを実施した。 質問1～5については、下記の5段階で評価を行った 評点5（大変満足している）、評点4（満足している）、評点3（どちらとも言えない）、評点2（満足していない）、評点1（まったく満足していない）									
	質問6「以下の用語はディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与方針）に掲げられている素養です。本学で身についたと感じるものを選んでください。（複数回答）」 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 理論的な思考力</td> <td style="width: 50%;">6 考え方の柔軟性</td> </tr> <tr> <td>2 コミュニケーション力</td> <td>7 多文化・異文化理解</td> </tr> <tr> <td>3 物事を多角的・多面的に考える視野</td> <td>8 自ら課題を立てて、解決する力</td> </tr> <tr> <td>4 教養・知識</td> <td>9 その他</td> </tr> <tr> <td>5 専門的な知識と技術</td> <td></td> </tr> </table>	1 理論的な思考力	6 考え方の柔軟性	2 コミュニケーション力	7 多文化・異文化理解	3 物事を多角的・多面的に考える視野	8 自ら課題を立てて、解決する力	4 教養・知識	9 その他	5 専門的な知識と技術
1 理論的な思考力	6 考え方の柔軟性									
2 コミュニケーション力	7 多文化・異文化理解									
3 物事を多角的・多面的に考える視野	8 自ら課題を立てて、解決する力									
4 教養・知識	9 その他									
5 専門的な知識と技術										
質問7	その他、本学に特に満足したことや要望等があれば、ご記入ください。									

2. 集計結果

2.1 質問1～4の解析

回答	学部	評価点分布						平均値	全学
		1	2	3	4	5			
質問1 本学の教育について、満足していますか。	国際教養学部	7	5	15	31	14	3.56	3.85	
	教育学部	0	0	1	11	18	4.57		
質問2 学友との出会いに満足していますか。	国際教養学部	3	4	9	14	42	4.22	4.38	
	教育学部	0	0	2	3	25	4.77		
質問3 学習に関わる施設、設備、備品は十分でしたか。	国際教養学部	9	18	18	18	9	3.00	3.23	
	教育学部	0	1	12	10	7	3.79		
質問4 就職活動・教員採用試験等への支援は十分でしたか	国際教養学部	5	8	14	23	22	3.68	4.04	
	教育学部	0	0	1	1	28	4.90		
質問5 大学に入学し、4年間学んだ結果、自分の夢を実現し、大きく成長したと思いますか	国際教養学部	2	5	18	29	18	3.78	4.05	
	教育学部	0	0	0	9	21	4.38		

質問1～5への回答の分析結果を示す。

- 質問1は、本学教育の総合的な評価であり、全学平均で3.85の評価を示している。評価5大変満足していると評価4満足している、を合わせて、72.5%（74名）となっている。この値は、昨年度（2022年度）の67%よりも改善されたが、数年前（2020年度）の82%に比べてかなり低くなっている。

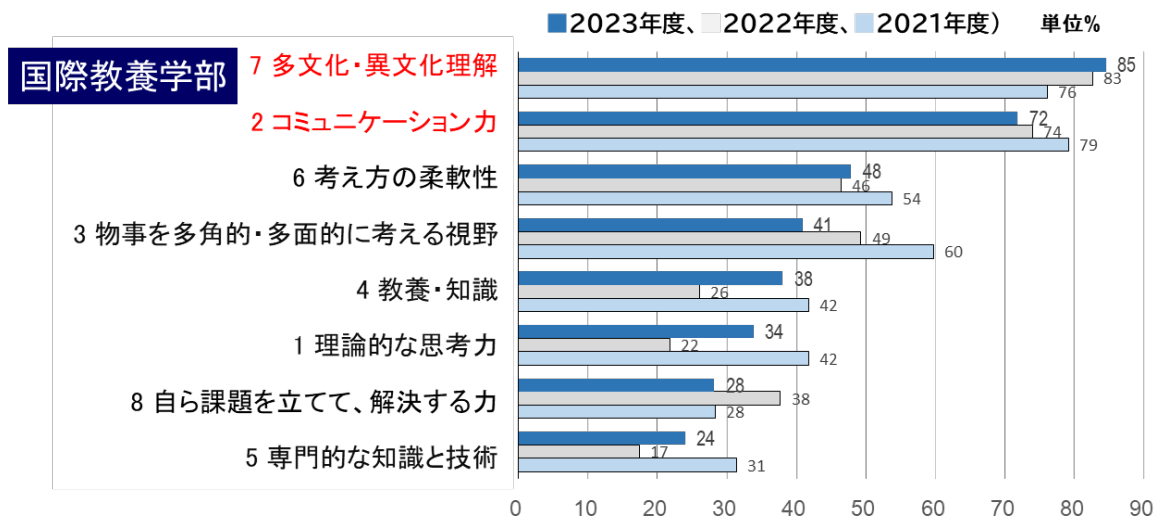
- ・ 質問2の学友関係については、全学平均で4.38の高い評価を示している。
- ・ 質問3「施設・設備」の評価は全学平均3.23であり、2020年の3.67に比べて低くなっており、自由記述欄に記載の様にプロジェクターへの不満が高いことが分かる。
- ・ 質問4の「就職活動・教員採用試験等への支援」は、教育学部で4.90と、高い評価となっている。教育学部での教員採用試験の支援が評価されているものと思われる。一方、国際教養学部の就職支援の評価は3.68であり、昨年度の3.13よりも改善された。
- ・ 質問5は本年度からの新項目です。評価5と評価4を合わせて、72% (=73/102)の学生が”大きく成長した”と答えている。

回答	年度	評価点分布 (国際教養学部、教育学部)					平均値
		1	2	3	4	5	
質問1	2020年度	2	2	10	29	35	4.19
	2021年度	2	4	20	39	41	4.07
	2022年度	5	5	29	48	30	3.75
	2023年度	7	5	16	42	32	3.85
質問2	2020年度	2	2	3	19	52	4.50
	2021年度	0	0	7	22	77	4.66
	2022年度	1	5	15	24	72	4.38
	2023年度	3	4	11	17	67	4.38
質問3	2020年度	3	10	14	34	17	3.67
	2021年度	7	13	34	28	24	3.46
	2022年度	8	17	48	30	14	3.21
	2023年度	3	4	11	17	67	3.23
質問4	2020年度	2	2	18	21	35	4.11
	2021年度	6	8	19	16	47	3.94
	2022年度	10	14	24	29	40	3.64
	2023年度	9	19	30	28	16	4.04
質問5	2023年度	5	8	15	23	50	4.01

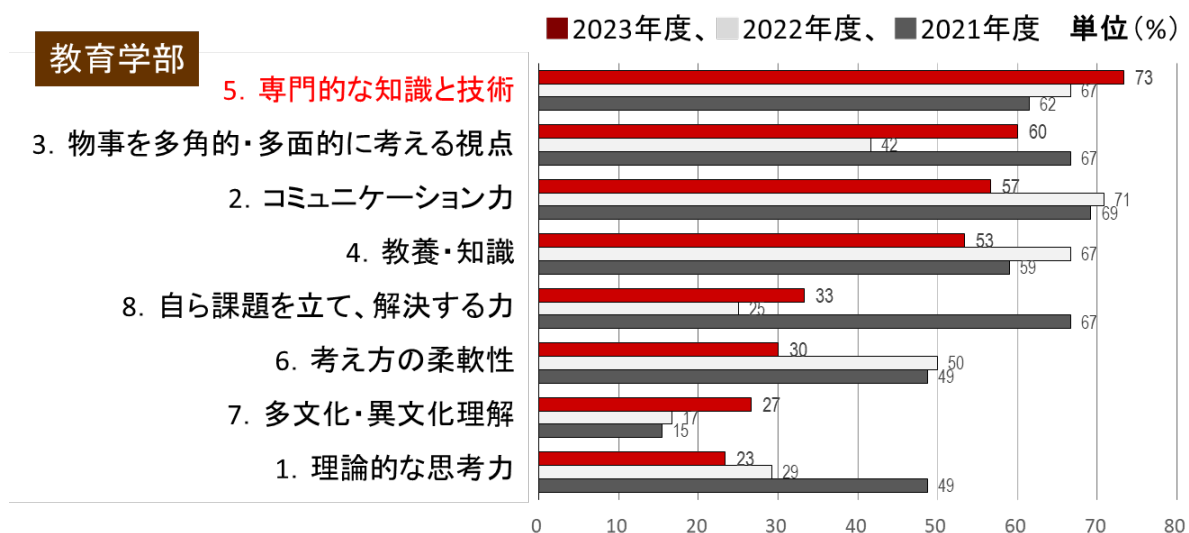
2.2 質問6の解析

<p>質問6 以下の用語はディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与方針）に掲げられている素養です。本学で身についたと感じるものを選んでください（複数回答）</p> <p>1 理論的な思考力 2 コミュニケーション力 3 物事を多角的・多面的に考える視野 4 教養・知識 5 専門的な知識と技術</p> <p>6 考え方の柔軟性 7 多文化・異文化理解 8 自ら課題を立てて、解決する力 9 その他</p>

回答	選択項目	割合 (%)							
		1	2	3	4	5	6	7	8
国際教養学部	2020年度	33	60	64	62	26	62	86	43
	2021年度	42	79	60	42	31	54	76	28
	2022年度	22	74	49	26	17	46	83	38
	2023年度	34	72	41	38	24	48	85	28
教育学部	2020年度	42	72	47	78	67	47	22	56
	2021年度	49	69	67	59	62	49	15	67
	2022年度	29	71	42	67	67	50	17	25
	2023年度	23	57	60	53	73	30	27	30



- ・ 国際教養学部では、「7 多文化・異文化理解 (85%)」「2 コミュニケーション力 (72%)」が身についたと、70%以上の学生が答えている。
- ・ 一方で、「5 専門的な知識と技術 (24%)」「8 自ら課題を立てて、解決する力(28%)」「1 理論的な思考力(34%)」「4 教養・知識(38%)」が低く、2021年度と比較すると、減少している。
- ・ また、「6 考え方の柔軟性」「3. 物事を多角的・多面的に考える視野」は、ここ数年、低下傾向にある。



- ・ 教育学部では、「5 専門的な知識と技術 (73%)」が、ここ3年間で最も高い。
- ・ 「3. 物事を多角的・多面的に考える視野 (60%)」「2. コミュニケーション力 (57%)」「4 教養・知識 (53%)」「4 教養・知識 (53%)」ここ3年間で最も低くなった。
- ・ 「8 自ら課題を立てて、解決する力 (33%)」「6 考え方の柔軟性 (30%)」「1 理論的な思考力 (23%)」は、2年前 (2021年度) に比べると、大幅に落ち込んだ。1～2年生時のオンライン授業の一因と考えられる。
- ・ 「7 多文化・異文化理解 (17%)」が低くなっている。